

第103回定時総代会議事録

2025年7月2日

富 国 生 命 保 険 相 互 会 社

第103回定時総代会議事録

富国生命保険相互会社

2025年7月2日（水曜日）午前10時00分、東京都千代田区内幸町二丁目2番2号、富国生命本社28階会議室に於て、全取締役11名（米山好映、渡部毅彦、林俊勝、北村康幸、砂本直樹、山田一郎、佐藤広、小巻亜矢、渡辺一、近藤健、吉田勇治）及び全監査役5名（根津嘉澄、高橋恭平、渡部肇史、黒田啓一、重松秀明）が出席し、第103回定時総代会を開催した。

- ・ 総代数 120名（定数120名）
- ・ 出席総代数 120名（うち、委任状による出席10名）

1. 開会

午前10時00分、定款第20条の定めにより、代表取締役社長渡部毅彦が議長となり、開会を宣した。

次に、議長は、本日の出席総代数が、委任状を含め、本総代会の議案の決議に必要な定足数を充足しており、適法に成立した旨を述べた。次いで、本日上程される議案は定款第21条に定める普通決議による事項であることを述べた。

2. 議事の経過の要領及びその結果

（1）監査報告

議長は、まず、重松監査役に監査報告を求めた。同監査役は、監査の方法、内容及び結果は、監査役会の監査報告書謄本に記載のとおりであること、また、本総代会に提出の全ての議案及び書類は、法令・定款に適合しており、指摘すべき事項はない旨を述べた。

（2）報告事項の報告

議長は、2024年度事業報告の件、2024年度貸借対照表、損益計算書及び基金等変動計算書報告の件、相互会社制度運営報告の件について、スライドを用い、ナレーションにて報告を行う旨を述べた。

ア. 2024年度事業報告の件

2024 年度事業報告について、事業の概況、業績状況を報告した。

イ. 2024 年度貸借対照表、損益計算書及び基金等変動計算書報告の件

2024 年度貸借対照表、損益計算書及び基金等変動計算書について、貸借対照表、損益計算書を中心に主な項目について報告した。

ウ. 相互会社制度運営報告の件

相互会社の仕組みと総代の定数、総代の選出方法、2024 年度評議員会付議事項、2024 年度ご契約者懇談会開催状況などについて報告した。

この後、議長は 2024 年度事業報告の中の、会社が対処すべき課題について報告した。続けて、参考資料に基づき、「新たな利益配分方針」および「中期経営計画『THE MUTUAL ACT 2027』」について説明した。

(3) 質疑

上記各報告事項の報告後、総代から事前に寄せられた以下の意見・質問に対し、議長及び担当役員より回答した。

- 今後人口減少により生命保険事業も厳しくなると思うが、今後のフコク生命の展望を教えてください。
- 法人向け保険や個人保険など様々な商品があるなかで、フコク生命がおすすめする商品について教えていただきたい。
- フコク生命の良さは「Face to Face」によるコンサルティングセールスだと思うが、一方で情報端末機器「PlanDo」や「LINE WORKS」の活用等によるお客さまへのアプローチ方法が多様化している。営業職員の活用状況や、上手く使いこなせているかを教えていただきたい。また、これらデジタルツールの活用におけるお客さまからの反応はいかがか。
- 人生 100 年時代と言われているが、保険期間が 70 歳から 80 歳までの保険商品がほとんどである。高齢者も加入しやすい商品開発について、どのようにお考えか。
- 加入者の高齢化が進む中で、認知症や介護に対応した保障の強化は検討しているのか。
- 昨今の自然災害増加に備え、再保険などのリスクヘッジの仕組みはどのようなになっているのか。
- メインフレームのオープン化に関し、第 147 回評議員会で「自社開発した専用クラウドで、引き続き COBOL 言語を使用してコストを抑え、技術者は社内でプログラミング教育を強化する。」と言及されている。世間とは相反するチャレンジな対応だと思うが、勝算はあるのか。現在の進捗状況を聞かせていただ

きたい。

- デジタル化が進む中で、契約者向けのオンラインサービスはどのように改善されているのか。
- 契約者向けのアプリやマイページなど使いやすさの改善についての取組み状況はどうか。LINE やチャットなどデジタル相談窓口の拡充についてはどうか。
- チャリティコンサートの参加やおやさいクレヨンの寄贈以外にも、契約者が参加して喜びを感じるような社会貢献活動の取組みがあるのか伺いたい。
- 今後の人材確保・人材育成の取組みについて教えてほしい。
- AI の活用についてどのようにお考えか。
- 賃金等の処遇改善と評価体系の見直しにより職員満足度が向上したとの事だが、どのような見直しを行ったのか。一方でお客さま満足度が 2021 年度より低下したとの事だが、原因究明や分析結果について、また今後どのような施策で「お客さま満足度No.1」を目指すのか教えていただきたい。
- 役員報酬額の改定については、個人保険の 13 年連続の増配、好調な業績、職員の賃上げを踏まえたうえでの事と考えるが、役員報酬額が倍増するような印象を受ける。現行の役員報酬の水準は同業他社と比べ、どのような状況なのか。納得感のあるご説明をいただきたい。
- 一部のメディア企業等において、高齢の取締役の長期在任により企業ガバナンスの機能欠如を招いているとして、社会的に問題となったが、取締役や監査役の選任に際し、年齢の上限や在任期間などの内規や基準はあるのか。また例外的な選任となる場合、取締役会等で十分な議論や検討をしているのか。
- 昨今の地政学リスクの激化・長期化が与える影響については、大きな関心を持っている。フコク生命では「地政学リスク」をテーマにしたストレステスト等を通じて課題の検討を行っているとのことだが、シナリオの枠組みや影響・課題について、どのようにお考えか。
- トランプ政権による関税政策など米国の動向が今後のフコク生命の資産運用面にどのような影響を与えるのか見解を伺いたい。
- トランプ政権の関税政策によって生命保険業界やフコク生命の経営にどのような影響があるのか。

回答後、議長は、この他に総代から期待や激励、お褒めの言葉などを頂戴していることについて述べた。

さらに議長は、出席した総代に対して意見・質問などを求めたところ、以下の意見・

質問が寄せられ、議長及び議長からの指名を受けた担当役員より回答した。

- 国内市場で成長できるとのことだが、生産年齢人口が減少する国内マーケットについて、どのように考えているのか。
- 保険に係る収益を上げるためには、契約者の健康維持・向上は重要であると考え。どのような取組みを行っているのか。
- 役員報酬の水準について、同業他社よりも低いのであれば、職員のモチベーションにもかかわると思う。そうしたことも踏まえ、役員報酬の水準を考えてほしい。

(4) 決議事項の審議・採決

続いて、議長は、決議事項である第1号から第5号までの各議案について、それぞれ説明し採決を行う方法で審議を進めたい旨を述べ、出席総代に異議を問うたが異議はなかった。

第1号議案 2024年度剰余金処分案承認の件

議長は、2024年度剰余金処分案に加え、社員配当比率について説明した。

その後議長は、本議案について異議を問い採決したところ、異議はなく全会一致で原案どおり承認可決された。

第2号議案 社員配当準備金分配の件

議長は、社員配当準備金分配に加え、2025年度にお支払いする配当のあらましについて説明した。

その後議長は、本議案について異議を問い採決したところ、異議はなく全会一致で原案どおり承認可決された。

第3号議案 評議員9名選任の件

議長は、現評議員9名全員が本総代会終結の時をもって任期満了となることにともない、次期評議員として、泉谷直木、井上和幸、北村雅良、小林哲也、中林真理子、西成活裕、花崎正晴、久塚智明、前野隆司の9名を選任したい旨及びその推薦理由を説明した。

その後議長は、本議案について異議を問い採決したところ、異議はなく全会一致で原案どおり承認可決された。

第4号議案 取締役12名選任の件

議長は、現取締役11名全員が本総代会終結の時をもって任期満了となることにともない、米山好映、渡部毅彦、林俊勝、北村康幸、砂本直樹、山田一郎、

佐藤広、小巻重矢、渡辺一、近藤健、吉田勇治、矢崎斉の 12 名を取締役として選任したい旨を述べた。なお、矢崎斉は新任の候補者、佐藤広、小巻重矢及び渡辺一の 3 名は社外取締役の候補者である旨を説明した。

その後議長は、本議案について異議を問い採決したところ、異議はなく全会一致で原案どおり承認可決された。選任された 12 名は全員就任を承諾した。

第 5 号議案 取締役及び監査役の報酬等の額の改定の特

議長は、昨今の物価高騰、賃金水準の上昇等の経営環境の変化に加え、健全性・収益性などの業績状況に鑑み、取締役の報酬等の額を「年額 10 億円以内」に、監査役の報酬等の額を「年額 2 億円以内」にそれぞれ改定したい旨を説明した。その後議長は、本議案について異議を問い採決したところ、異議はなく全会一致で原案どおり承認可決された。

3. 閉会

議長は、以上をもって本定時総代会が議了した旨を述べ、午前 12 時 01 分に第 103 回定時総代会の閉会を宣した。

以上の議事の経過及び決議を明確にするため、この議事録を作成した。

2025 年 7 月 2 日

富国生命保険相互会社

第 103 回定時総代会

議事録の作成に係る職務を行った取締役

代表取締役社長 渡部 毅彦

以上